

グローバル・スタディー科 第2学年

1 学習目標

- (1) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。
- (2) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- (3) 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うことをねらいとする。

2 学習の仕方

- (1) 授業では
 - ① 発音に気をつけ、意欲的に英語による対話練習、やりとりに取り組む。
 - ② 内容を想像しながら、英語を聞き取ろうとする。
 - ③ 多くの人とのコミュニケーションを楽しみながら、誰とでも協力をして活動を行う。
 - ④ 既習の単語や文型を使って自己表現ができるようにする。
- (2) 家庭などでは
 - ① 正しい発音や抑揚を意識して、音読練習する(英語⇔日本語を流暢に音読できるようになるまで)
 - ② 宿題やワークブック、自主学習など。※学習方法や内容などは授業中にも伝えます。

3 学習内容

月	単元名	学習のねらい	主な学習内容
4	辞書を読んでみよう	英和辞典にはどんな内容が書かれているのかを知る。	英和辞典の利用方法を学ぶ。
	Program 1	・ be going to を使って、予定や計画を言える ・ will を使って、これからやろうとしていることや起こることについて言える ・ 接続詞の when や if を使って、いつ何をするのか説明できたり、条件について言えるようになる	・ I am going to ～. ・ I will ～. ・ 接続詞 when、接続詞 if を学ぶ
4	Step 1	・ インタビューで聞いたり読んだりした情報を整理するための手段として、マッピングを使ってメモを取ることができる	情報再生のために、When/ who/ where/ what/ how を聞き取り方を学ぶ
5	Program 2	・ 接続詞 that を使って自分の考えを言える ・ 助動詞 must を使って、義務や命令について言える ・ have to, don' t have to を使って必要性について言える	・ I think (that) ～. ・ I don't think (that)～. ・ We must～. ・ We have to ～. We don't have to ～.を学ぶ
5	Power-Up 1	天気予報を聞き取る基本的な力を身につける	天気と気温に関する表現を学ぶ
5	Power-Up 2	電話の対話を聞き取ったり読んだりしながら、基本的な電話のやり取りができる	・ 話したい相手に取り次いでもらう場合 ・ 話したい相手が出た場合 ・ 間違い電話をしてしまった場合の表現を学ぶ
5	Word Web 1	食材や調味料に関する語彙を身につける	食材や調味料に関する語彙の英語らしい発音を学ぶ
6	Program 3	・ 不定詞の名詞的用法を使って、自分のしたいことが言える ・ 不定詞の福祉的用法を使って、行動の目的が言える ・ 不定詞の形容詞的用法を使って、何をするためのものか言える	・ I want to see～. I enjoy dancing. ・ I'll g to New York to syudy～. ・ a lot of things to do を学ぶ

6	Step 2	相手にわかりやすい文章にするために、全体の文章構成を考えて英文を書ける	英文のパラグラフ作成時の、導入、展開、まとめの流れを学ぶ
6	Our Project4	グループで夢の旅行を企画し、地図や写真を使ってわかりやすいプレゼンテーションを行うことができる	これまで学習した未来表現、接続詞、助動詞、情報のつなげ方、文章構成を復習する
7	Reading 1	小学校の時に読んだ物語を英文で読み、中学2年生として考えたことを英語で発表できる	Gon, the Little Fox を読む
7	Word Web 2	いろいろな形容詞を学習する	使用頻度の高い形容詞を、その対義語とあわせて理解する。
9	Program 4	・比較級を使って、2つのものを比べて英語で説明できる ・最上級を使って、もっとも程度が高いものについて説明できる ・同等比較を使って、同じ程度のものについて説明できる	・ cuter than～、 more expensive than～ ・ the longest ～、 the most wonderful～ ・ as big as～、 not as heavy as～を学習する
9	Word Web 2	カタカナ英語になっている語彙の英語の発音を確認し、英語らしい音声で発音できる	楽器に関する語彙を学習する。
10	Program 5	・疑問詞+to do を使って、何かの仕方について言える ・知覚動詞+ 形容詞/become 名詞・形容詞を使って、人や物の様子や状態について言える ・SV00 文型を使って、誰かに何かを見せるということを言えるようにする	・ know how to do ・ You look～ ・ I'll show you～.を学習する
10	Power-Up 3	レストランで食事をする場面で、入店から注文までの基本的な会話を身につける	・モデル対話の聞き取りとペアでのロールプレイを学習する
11	Program 6	・受け身形を使って、されていることや、されたことについて言える ・受け身+by を使って、誰かに何かされていることや、されたことについて言える ・by を使わない受け身形を使って、「～に知られている」「～でおおわれている」と言える	・ is used ・ was built by～ ・ is known to～ ・ are covered with～を学習する
11	Step 3	内容を深めるながら会話を継続させていくことができる	タイミングの良い相槌や疑問詞を使ったりしたコミュニケーション方法を学ぶ
12	Our project 5	・なりたい人物を選び、協力して読み手にわかりやすいポスターを制作する ・ほかのグループのポスターを読んで感想を伝え、質問できる	・比較表現 ・疑問詞+to ・SVC 文型と SVOO 文型 ・受け身を復習する
12	Reading 2	・日本とトルコの絆を深めるきっかけとなったエルトゥールル号の救出からイラン・イラク戦争の最中に日本人救出のためにとったトルコの対応を読み、真の国際理解について考える	・他社や社会の危機に際してどのように行動すべきかを、国境を越えた助け合いの必要性を学ぶ。
12	Word Web 3	いろいろな前置詞の基本的な意味を理解し、活用できる。	
1	Program 7	・現在完了の完了用法を使って、すでにしてしまったことや、今ちょうどし終えたことが言える ・現在完了の完了用法の疑問文、否定文を使って、もう何かをし終えたかどうかをたずねたり、答えたりできる ・現在完了の経験用法を使って、これまでに経験したことがあるかどうか言える。	・ I have already read～. ・ Have you taken ～? ・ I haven' t packed ～.. ・ I have never seen ～. ・ Have you ever climbed ～? I have climbed～.を学ぶ
1	Step 4	・相手にわかりやすく説明することができる	
2	Power-Up 4	・空港アナウンスを聞き取ることができる	受動態、都市名、数字を含んだアナウンスを聞き、飛行機の運航状況を理解する方法を学ぶ

2	Program 8	・現在完了の継続用法を使って、「これまでずっと～だった」と続いていることを言える ・現在完了進行形を使って、「これまでずっと～し続けている」という内容を言える	・ How long have you been ～? ・ We've been waiting ～.を学ぶ
2	Step 5	・英語で説得力のある主張ができる	・立場の異なる主張のトピックを捜し、どちらかの立場で互いに主張し、相手の主張の説得力を検討する方法を学ぶ
3	Power-Up 5	・近況を報告するメールを読んだり書いたりできる	例を参考にして、近況を伝えるメールを書く方法を学ぶ
3	Our project 6	・1年間を振り返り、自分が成長したと思うこと、思い出に残っていること、感謝したいことなどをスピーチに託してメッセージを伝えることができる	・わかりやすいスピーチする ・スピーチを聞いて感想を言う ・自分の思いを伝えるメッセージが書く方法を学習する
3	Word Web5	町にある建物や施設に関する語彙の定着させる	単語の正しい発音と意味を理解し、道案内をのやり取りを学習する
3	Reading 3	激動の時代に信念を貫いた杉原千畝の話を英語で読み、道徳心を育てる	英文での杉原千畝の行動を読み取り、感想や感じたことを英語で書く方法を学ぶ

4 評価について

(1) 日々の活動を重視し、以下の4項目を考慮して評価する

- ① 積極的に授業に取り組む姿勢や態度
- ② 言語活動に取り組む姿勢や態度
- ③ 小テストや定期テストの結果
- ④ パフォーマンステストへ取り組む過程と結果

(2) 評価・評定の3観点と評価の際の視点・方法

①主体的に学習に取り組む態度

- ア、 授業に積極的に取り組んでいる
- イ、 協力してペアワーク等に取り組める
- ウ、 コミュニケーション活動に意欲的に取り組んでいる
- エ、 思考力・判断力・表現力を身に着けるために粘り強く取り組んでいる

②思考・判断・表現

- ア、 英語の質問に英語で答えられる
- イ、 英語を使って自己表現できる
- ウ、 場面に応じた表現を考えることができる
- エ、 発音やイントネーションに気をつけながら、正確に発音できる
- オ、 まとまった英文の内容を読み取れる
- カ、 まとまった内容の英語を聞き取れる
- キ、 英語による質問・依頼・指示などに対し、適切に応じることができる

③知識・技能

- ア、 英語の語彙についての知識・理解がある
- イ、 英語の語順・文型などの知識・理解がある
- ウ、 自国を含む世界中の様々な地域についての生活習慣・文化の知識・理解がある
- エ、 適切な方法で、事実や自分の考えおよび気持ちを伝えることができる